

≪『打設楽校』開校しました！！≫

株式会社 総合コンクリートサービス
代表取締役 岩瀬文夫

近年コンクリート工事は、行き過ぎた合理化によって、耐久的なコンクリートを造る上で本来不可欠ともいえる重要な作業までが省かれています。たとえば、打設作業はどのように行なわれているのでしょうか。「打設」とは名ばかりで、軟らかい生コンを型枠の中に流し込むだけであるのが普通ではないのでしょうか。これではひび割れだらけの耐久性に劣るコンクリートができてなんら不思議はありません。

打設においては、型枠の中に生コンを密実に詰め込む—密度を高める—必要があるのです。たとえば配合上の密度が 2.30 g/cm^3 ($2,300\text{ kg/m}^3$) 程度のコンクリートを、バイブレータ作業やタッピング作業などにより大きな力で型枠中に押し込むと、硬化に不要な水や空気を追い出すことができ、 2.40 g/cm^3 ($2,400\text{ kg/m}^3$) 程度にすることもできます。一方、型枠中に流し込むだけで空気を巻き込んだ状態で硬化したコンクリートの場合、 2.25 g/cm^3 ($2,250\text{ kg/m}^3$) を下回ることもさえあります。

1 m^3 あたり 150 kg にもなるこの質量の差（密度の違い）は何でしょうか？コンクリート中の隙間の量の違いにほかなりません。隙間を少なく、密度を大きくするほど、外気の影響を受けにくくなるため、耐久性が優れたものとなるのです。また、入念に締め固め骨材が強かみこんだ、密度の大きいコンクリートは、硬化組織が密実なためひび割れも生じません。

ひび割れがなく、耐久的なコンクリートをつくるためには、実は打設の仕方が非常に重要なのです。

このたび当社では、打設立会の際に、要望に応じて打設方法について解説する30分程度のプレゼン（バイブレータ作業の長所・短所を確認するための簡単な実験などを含む）を実施することに致しました。その名も『打設楽校』です。これまでも打設日とは別の日に事前の講習は行なっておりました。しかし、折角お伝えした内容も時間が経過するにつれ忘れられ、朝礼においてあわただしく打設の要点のみをお話しても十分な理解が得られていなかったのでは、と考えてのことです。

費用は1回¥100,000（交通費、消費税等別）です。このほか、型枠環境の確認、打設時の注意事項の確認等を行なう『打設楽校予習編（事前指導）』（¥50,000）、立会い指導を技術力の向上に生かすための『打設楽校復習編（反省会）』（¥50,000）も承っております。『打設楽校』と併せて是非ご活用下さい。

■お問い合わせ

東京都あきる野市瀬戸岡303番地 株式会社総合コンクリートサービス

電話：042-558-6637 F A X：042-559-2625

U R L <http://www.sc-con.com> E-mail: info@sc-con.com